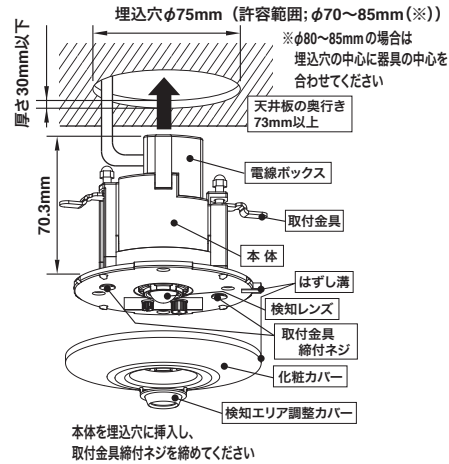


感熱センサスイッチの取付方法

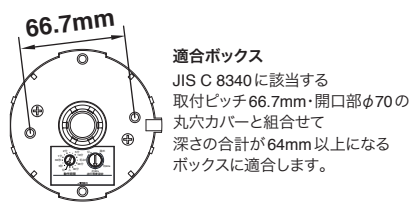
ボックスレス工事

天井板厚 30mm 以下、天井奥行き 73mm 以上
※必ず付属の電線ボックスを取り付けてください。



ボックス取付

スイッチから電線ボックスを取外し 66.7mm ピッチのガイド穴に取り付けねじ（市販）を通して、天井に取り付けてください。



天井裏に断熱材がある場合

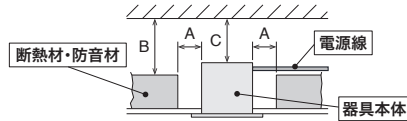
マット工法

ボックスレス工事での施工はできません。
必ず市販のボックスを使用して取り付けてください。

ブローイング工法

・電気配線は断熱材/防音材の上側にくるように配線してください。

A: 器具から断熱材/防音材までの距離は 10cm 以上離す
B: 断熱材/防音材の上側は最低 20cm 以上の空間が必要
C: 造営材と器具上側の間は最低 10cm 以上の空間が必要



警告 この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

必ず AC100～242V 電源で使用してください。

適合電線

・適合負荷

－照明および換気扇：AC100-242V、8A 以下

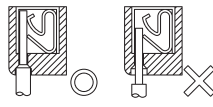
－φ1.6、φ2.0mm の銅単線専用

12mm (10mm～14mm)

－曲がった電線、より線は使用しない



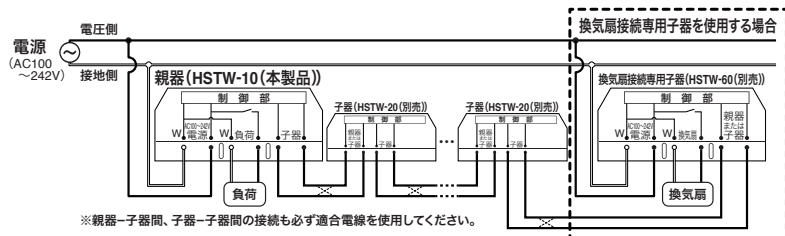
結線時は、電線を奥まで確実に差込んでください。



感熱センサスイッチの配線方法

警告 この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

－「負荷」端子と「子器用」端子に直接 AC 電源を接続しない



※親器－子器間、子器－子器間の接続も必ず適合電線を使用してください。

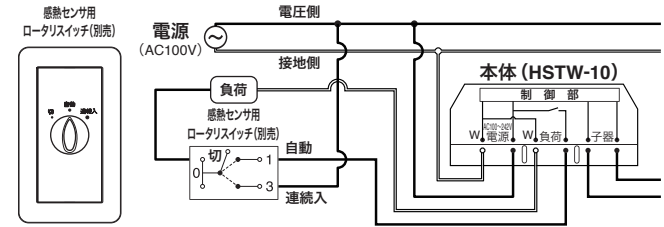
・親器 1 台（単独使用可）につき、子器は 12 台まで接続できます。（※HSTW-60 は 1 台のみ接続できます）
・親器－子器間の配線距離は合計 150m 以内にしてください。
・子器への接続は極性がありません。

（右頁に続きます）

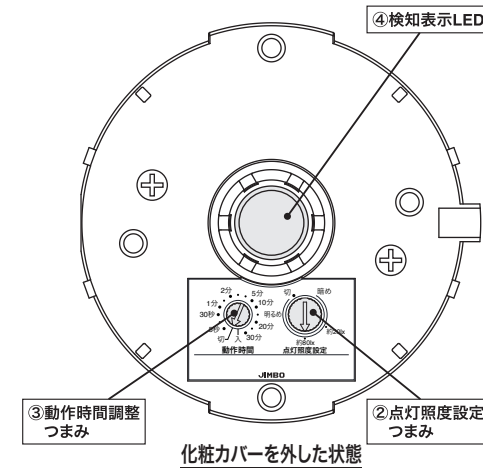
感熱センサスイッチの配線方法（左頁からの続き）

感熱センサ用 ロータリスイッチ（別売）と組み合わせる場合

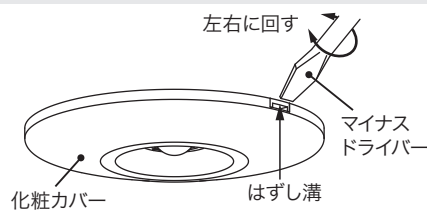
感熱センサ用 ロータリスイッチ（別売）を組み合わせることで、壁スイッチの操作で感熱センサスイッチの動作切替ができます。（感熱センサ用 ロータリスイッチを併用する場合は、本体の動作時間調整つまみで動作時間を設定してください）



感熱センサスイッチの動作設定

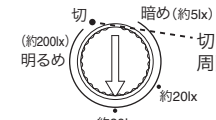


①化粧カバーの外し方



②点灯照度設定つまみ

点灯照度を設定します。
設定した照度より周囲が明るい場合、感熱センサが検知しても負荷は動作しなくなります。

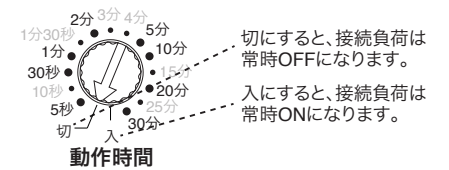


点灯照度設定

出荷時は「切」に合わせてあります。

③動作時間調整つまみ

動作時間は約 5 秒～約 30 分まで 14 段階に調節できます。
「カチッ」とクリック感のある位置につまみを合わせてください。
クリック感のない中間位置では正しく時間設定できません。



出荷時は「5 秒」（テスト用）に合わせてあります。

施工後に動作時間が設定してあるか再度、確認してください。

④検知表示 LED

検知すると検知表示 LED（赤色）が点滅します。
（検知エリア調整や動作を確認する際に確認してください）

施工後の安全点検と確認

- ☐ 電線は奥まで差し込まれている
- ☐ 検知レンズに汚れはない（汚れている場合は柔らかい乾いた布で傷をつけないように清掃する）
- ☐ 動作時間と点灯照度を設定している
- ☐ 検知エリアの調整および動作確認が完了している

神保電器株式会社

札幌：(011) 768-8666 仙台：(022) 287-1095 東京：(03) 5705-7392
名古屋：(052) 982-8370 大阪：(06) 6457-2931 福岡：(092) 408-7724

CE-BA-01